

〔女子準決勝〕

昭和学院中学校 (市川・浦安)	69	}	26-12	50	旭市立
			17-8		
			13-15		
			13-15		
					干潟中学校 (東総)

【評】

6年連続優勝を目指す昭和学院と、東総地区で実に38年ぶりの決勝進出を目指す干潟中の準決勝は、昭和学院はオールコートマンツーマン、干潟中はハーフコートマンツーマンディフェンスでスタートする。昭和学院は序盤から、ミスを誘う激しいDefと、④池見、⑥西江瑠加也の1 on 1を軸に得点を重ねる。対する干潟中は、力強いリバウンドと速攻、⑤金杉のゴール下のプレーで応戦する。干潟中は、④辻内のスリーポイントや、⑥衣鳩のドライブで昭和学院を追いかける。後半に入ると、ディフェンスからリズムをつかんだ干潟中が速攻、スリーポイント、ゴール下のセカンドシュートで連続得点を重ね、徐々にその点差を詰める。第4Q、昭和学院中はDefのプレッシャーを強め、チャンスがあれば激しいダブルチームでボールを奪い、縮まりかけた点差を再び突き放す。最後まで、あきらめずに粘り続けた干潟中であったが、その差が縮まらず試合終了。昭和学院中が王者の貫禄を見せた。

〔女子準決勝〕

浦安市立 堀江中学校 (市川・浦安)	56	}	12-17	55	船橋市立
			3-10		
			19-15		
			22-13		
					海神中学校 (船橋)

【評】

第2シードの海神中と、8シードから勝ち上がってきた堀江中との準決勝。互いにハーフコートマンツーマンで始まった第1Q、堀江中は⑤北出のスリーポイント、海神中は⑥高橋、⑬千のゴール下を中心としたオフェンスを展開。海神中は⑧目黒、⑦戸沢のドライブもよく決まりリード。第2Qに入ると、ファウルに苦しむ堀江中は⑥檜山のスリーポイントの得点にとどまる。後半にはいると、堀江中はDefをオールコートゾーンプレスに変え、④玉田のポストプレイによりその差を徐々に詰め始める。海神中はボール運びに苦しむも、⑭遠田の1 on 1でリードを守る。第4Q、堀江中はDefを再びハーフコートマンツーマンに変えて守りを固めつつ、⑤北出、⑱岡野の巧みなシュートですがるも、点差が縮まらずゾーンプレスに戻す。海神中はミスが目立ちはじめ、堀江中の連続得点を許す。海神中1点リードで迎えた残り9秒、堀江中④玉田が華麗なステップインシュートを沈め大逆転。そのまま試合は終了し、堀江中が決勝進出を決めた。破れはしたものの、好ゲームを繰り広げた海神中に拍手を送りたい。

〔女子決勝〕

昭和学院中学校 (市川・浦安)	88	}	22-10	43	浦安市立
			14-15		
			21-14		
			31-4		
					堀江中学校 (市川・浦安)

【評】

6年連続優勝を目指す昭和学院中と初の決勝進出を果たした堀江中との同地区対決。昭和学院中は④池見、堀江中は④玉田の得点でスタート。序盤から昭和学院中は④池見のドライブ、⑥西江瑠加也のインサイドシュートでリードを広げる。堀江中は10点差となったところでたまたまタイムアウト。その後は堀江中のディフェンスが機能し始め、スティールからの速攻で昭和学院中を追いかける。昭和学院中が11点リードで折り返した後半、両チームとも激しいオールコートマンツーマンで互角の展開。決勝戦らしい迫力のあるバスケットが展開される。昭和学院中は、④池見の連続ポイントでリードを広げようとするが、堀江中も⑤北出がよくシュートを沈めて食らいつく。昭和学院中は、攻撃の手をゆるめず徐々に差をつけていく。第4Q、昭和学院中は⑤山田、⑦宮城、⑧ダリングらもバランスよく得点を重ねその差がさらに開いていく。堀江中も④玉田のポストプレイなどで何とかリズムをつかもうとするも、そのままリードが開き試合終了。昭和学院中が6連覇を果たした。敗れはしたが、最後まで走り抜いた堀江中に拍手を送りたい。

〔男子準決勝〕

八千代松陰中学校 (八千代)	70	{	22-16 15-12 11-19 22-10	}	57	千葉市立 土気南中学校 (千葉)
-------------------	----	---	--------------------------------------	---	----	----------------------------

【評】

新人戦の準決勝と同じカードとなった試合。序盤から両チームともハーフマンツーマンでスタート。互いによく足の動くDef。八千代松陰中は、④工藤のジャンプシュート、⑦松岡の1 on 1で得点を重ねる。対する土気南中は④古賀の1 on 1を中心に相手を切り崩すOff。後半に入ると、土気南中の④古賀、⑥伊集院、⑬森倉のシュートが決まり始め、その差を縮める。松陰中も⑤大谷のドライブ、⑧田崎のスリーポイントで流れを渡さない。第3Q終了間際、スピードあふれるバスケットを展開する土気南中は、④古賀のバスケットカウントで勢いに乗り、⑧土屋のゴール下のシュートで逆転に成功。しかし松陰中も落ち着いたシュートを沈め再び1点リード。第4Q、八千代松陰中は、Defを上手く使い分け、土気南中の流れを断ち切る。土気南中も④古賀の1 on 1で食い下がるも、八千代松陰中が落ち着いたゲーム運びでそのまま勝利。決勝に駒を進めた。敗れたが、土気南中の迫力あるバスケットは今後の楽しみである。

〔男子準決勝〕

佐倉市立 西志津中学校 (印旛)	49	{	10-23 15-14 10-8 14-17	}	62	市原市立 辰巳台中学校 (市原)
----------------------------	----	---	-------------------------------------	---	----	----------------------------

【評】

第3シードの葛飾中を破って準決勝に進んだ西志津中と、第2シードから順調に勝ち上がってきた辰巳台中との準決勝。両チームともハーフコートマンツーマンでスタート。辰巳台中の速い展開に西志津中が後れをとる形となった序盤、辰巳台中は⑥兼重の力強いポストプレイで着実に得点し、大きくリードする。第2Qに入ると、西志津中はスクリーンを使ったカットインを中心にオフェンスを組み立てる。④高棕、⑦岩崎のシュートがよく決まり、前半を折り返す。後半に入ると、西志津中の勢いはさらに増して、オフェンスリバウンドで勝利始める。西志津中⑦岩崎のスリーポイントなどが決まり4点差、辰巳台中のタイムアウト明け、辰巳台中は④薬丸、⑩中里のシュートで再び突き放しにかかる。辰巳台中10点リードで迎えた第4Q、辰巳台中の激しいDefに西志津中が苦しみ始め、その差が開き始める。西志津中は積極的にシュートに行き追いつがるも、ゴールに嫌われなかなか得点が決まらない。辰巳台中は⑦衛藤のバスケットカウント、スリーポイントで完全に流れをつかみそのまま試合終了。敗れはしたが、最後までゴールに向かった西志津中の選手たちに拍手を送りたい。

〔男子決勝〕

八千代松陰中学校 (八千代)	53	{	13-18 11-12 10-10 19-17	}	57	市原市立 辰巳台中学校 (市原)
-------------------	----	---	--------------------------------------	---	----	----------------------------

【評】

新人戦と同カードとなった決勝戦。序盤はお互いにハーフコートマンツーマンディフェンスでスタート。お互いに激しいプレッシャーをかけ続けるディフェンスで一進一退の攻防が繰り広げられた。八千代松陰中は、④工藤のミドルシュートがよく決まり、得点を重ねていく。さらに八千代松陰中⑤大谷がスリーポイントシュートを沈め勢いをつけようとする。対する辰巳台中は、④薬丸のドライブ、⑥兼重のインサイドプレーを中心に得点を重ねていく。ミスの許されない緊迫した展開が続くが、ディフェンス、オフェンスともにリバウンドを制し制空権を得た辰巳台中が終始リードを守り前半を折り返す。後半に入っても、互いに激しいディフェンスが衰えない。八千代松陰中は⑧田崎のドライブを起点にディフェンスを崩そうとするが得点につながらない。第4Q、八千代松陰中は、⑦松岡を中心に得点を狙うも、辰巳台中はリバウンドからのセカンドチャンスを見逃さず追従を許さない。八千代松陰中は⑦松岡の連続スリーポイントで4点差まで追い立てるも、リバウンドを制する辰巳台中が逃げ切り、新人戦の雪辱を果たし優勝を決めた。敗れたものの、最後まで集中力を切らさず戦った八千代松陰中にも拍手を送りたい。